

クレヨンカンパニーの「いろいろげきじょう2025」

一人でも色々「いろいろげきじょう」

「いろいろげきじょう」とは、「一人だからこそ面白い」をテーマにたった一人での上演ながら色々な工夫をこらした出張人形劇公演のことです。素材に廃品を使った「ガラクタ人形劇」や「影絵劇」、また昔話からオリジナルの演目まで毎年プログラムを入れ替え、楽しいことを色々試しながら各地の子供たちに観てもらっています。

ガラクタ人形劇「3びきのコブタ」

子供たちに大人気のお話をユニークな人形劇にしました。ガラクタ人形劇とは牛乳パックやダンボールなど身近な素材で製作した人形の劇です。素材そのものの形や色をなるべく利用して彩色なども殆どしていません。例えばオオカミはあえてダンボールの表を使って文字や色模様もそのまま体の部分に溶け込んだ人形です。

影絵劇「とべとべ！ペンギンくん」

作 ぷりはたゆきお 音楽 西尾 賢

①お散歩が大好きなペンギンくんの登場です。②カエルやモグラなどに会う楽しいお散歩をします。③カラスと出会い「飛べない鳥なんて鳥じゃない」と意地悪されます。③しょんぼりのペンギンくんにメガネぼっちゃんが励まして空を飛ぶ練習をします。④風船を取り付けてとうとう空を飛びます。⑤野や森や街の上空を悠々と飛びメガネぼっちゃんも追いかけます。⑥海まで飛んで来たところでカラスが現れ風船を破る意地悪をします。⑦ペンギンくんもカラスも海に落ちてしまいます。⑧溺れるカラスを泳ぎの得意なペンギンくんが助けます。

影絵の光源はプロジェクターを使い背景や海中、空飛ぶ場面などではCG（単純なコンピューターグラフィック）でも表現しています。影絵人形(平面人形)はスクリーン裏でももちろん人が操作して演技します。言わばデジタルと超アナログを融合した独特の影絵劇です。

観劇後の「おまけ」

時間とスペースに応じて、終演後に人形や舞台裏などを子どもたちに開放します。「ガラクタ人形」の構造や絵劇の仕組み・様々な工夫をこらした仕掛けなどを見てもらいます。「めがねおじさん」に質問や登場した人形たちとの写真撮影も大歓迎です。ご希望の場合は開演前の打ち合わせ時で構いません。また、公演とは別に工作会も実施できます。

- * 上演時間は約55分間。演目はそのまま、ある程度時間を調整して短縮も可能です。
- * 荷物の搬入後準備に約1時間 30分、後片付け撤収には約1時間必要です。
- * 舞台の設置スペースは横巾5m、奥行き2.5m、高さ 2.3m です。舞台前から2m 以上あけて客席を作ってください。「影絵劇」では暗幕や厚手のカーテンで会場内を暗くします。
- * 普通は段差のあるステージは使わず平場に設置します。出入口の付近また会場の遮光等を考慮して 舞台の設置位置を決めることもあります。

〒069-1208 北海道夕張郡由仁町山形 433-4
TEL/FAX 0123-83-2826

クレヨンカンパニー

<https://904company.net/>



めがねおじさん 降幡行雄(ぷりはたゆきお) 東京で生まれ育つ。1980年代から人形劇に携わり人形劇団ピッコロを経て、プロの人形劇団「クレヨンカンパニー」を設立する。全国各地で公演するほか講習会講師や幼年誌に工作や影絵作品を提供する。2003年北海道に移住する。趣味は野鳥など自然観察で自然観察指導員でもある。著書に「北の森のユニックル」(国土社)。

